

第2次城陽市生涯学習推進計画

前半総括報告書

令和3年（2021年）11月

城陽市教育委員会

文化・スポーツ推進課

目次

基本施策 4	主施策 17	体系		担当課	ページ
		中施策 57	施策 59		
1 ライフステージ に応じた 学習機会の充実	(1) 子育て世代の学習				
	① 家庭の教育力の向上	1	家庭教育に関する学習機会について	文化・スポーツ推進課	1
	② 子育て支援の充実	2	子育て世代の支援体制について	子育て支援課	1
	③ 幼児教育センター機能の充実	3	幼児教育センターについて	学校教育課	3
	④ 地域活動の充実	4	地域活動の支援について	文化・スポーツ推進課	3
	(2) 子どもの学習				
	① 学習機会の充実、体験活動の推進	5	国際理解・情報・体験学習について	学校教育課	4
		6	文化/パルク城陽における子ども向け事業について	文化・スポーツ推進課	5
	② 学校・家庭・地域との連携	7	放課後子ども教室推進事業について	文化・スポーツ推進課	6
	(3) 青少年、若者の学習				
	① 学習活動の充実、社会参加の促進	8	自然とのふれあい登山について	文化・スポーツ推進課	7
	② 団体活動の振興	9	スポーツ少年団について	文化・スポーツ推進課	8
	③ 青少年健全育成活動の推進	10	青少年健全育成活動について	文化・スポーツ推進課	9
	(4) 勤労世代の学習				
	① 学習活動の支援	11	勤労世代の学習支援について	商工観光課	11
	② 関係機関との連携	12	関係機関との連携について	商工観光課	12
	(5) シニア世代、高齢者の学習				
	① 学習機会の充実	13	老人福祉センター、高齢者クラブへの支援について	高齢介護課	12
	② 社会参加の促進	14	シルバー人材センターへの支援について	高齢介護課	13
	2 現代的・社会的 課題に対応した 学習機会の充実	(1) 現代的課題に対応した学習の推進			
① 国際化社会に対応する学習の推進		15	国際交流事業について	秘書広報課	15
② 情報化社会に対応する学習の推進		16	情報提供について	文化・スポーツ推進課	16
③ 自然・環境学習の推進		17	環境学習や啓発活動について	環境課	16
		18	緑化推進について	都市政策課	17
④ 健康学習の推進		19	健康学習について	健康推進課	18
⑤ 食に関する学習の推進		20	食に関する学習について	健康推進課	19
⑥ 消費生活に関する学習の推進		21	消費生活について	商工観光課	20
⑦ 地域防災・安全に関する学習の推進		22	地域防災・安全について	危機・防災対策課	21
(2) 人権や平和、男女共同参画の推進					
① 基本的人権の尊重		23	人権教育・啓発について	市民活動支援課	22
② 平和学習の推進		24	平和に関する啓発活動や学習活動について	秘書広報課	23
③ 男女共同参画の推進		25	男女共同参画について	市民活動支援課	24
④ 情報化社会に対応する人権の推進		26	情報化社会に対応する人権について	文化・スポーツ推進課	25
(3) 福祉学習の推進					
① 地域福祉の意識向上		27	地域福祉について	福祉課	26
② 障がいのある人の学習機会の充実		28	障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実について	文化・スポーツ推進課	27
③ 障がいに関する理解の促進		29	障がいに関する理解の促進について	福祉課	28
(4) 文化芸術活動の振興、文化財や歴史の保存継承の推進					
① 文化芸術活動への支援		30	文化芸術活動の振興について	文化・スポーツ推進課	29
② 文化財保護意識の普及・啓発		31	文化財保護意識の普及・啓発について	文化・スポーツ推進課	30
③ 歴史民俗資料館の充実		32	歴史民俗資料館について	歴史民俗資料館	31
(5) スポーツ・レクリエーション活動の振興					
① 活動機会の充実		33	スポーツ・レクリエーション活動機会の充実について	文化・スポーツ推進課	32
② 関係団体との連携と支援		34	関係団体との連携について	文化・スポーツ推進課	33
③ 指導者の育成		35	指導者の育成・確保について	文化・スポーツ推進課	34
④ 総合型スポーツクラブの支援		36	総合型地域スポーツクラブについて	文化・スポーツ推進課	34
(6) 読書活動の推進					
① 図書館事業の充実		37	図書館について	図書館	35
② コミセン図書事業の充実		38	コミセン図書事業について	市民活動支援課	37
③ 図書システムの充実	39	図書システムについて	図書館	38	
④ 子どもの読書活動の推進	40	子どもの読書活動について	学校教育課	39	
⑤ 高齢者・障がい者の読書環境の充実	41	大活字本や録音図書の充実	図書館	40	

3 学習成果を 活かした 地域づくりの推進	(1) 学びの場を核とした地域コミュニティの形成の推進				
	①	コミュニティ事業の推進	42	コミュニティ事業について	市民活動支援課 42
	②	コミュニティ組織の育成・支援	43	コミュニティ組織の育成・支援について	市民活動支援課 43
	③	コミュニティリーダーの育成・確保	44	コミュニティリーダーについて	文化・スポーツ推進課 44
	(2) ボランティア活動の推進				
	①	ボランティア活動の推奨	45	ボランティア活動について	図書館、歴史民俗資料館、高齢介護課、福祉課、雇工課 44
	②	学習機会の充実	46	ボランティアの学習機会について	市民活動支援課 48
	③	ボランティア活動への支援	47	市民活動支援センターについて	市民活動支援課 49
	(3) 学習成果の活用				
	①	社会全体で子どもたちを育む取組みの推進	48	学校と地域の連携・協働について	文化・スポーツ推進課 50
	②	活動の場の充実	49	生涯学習の成果を表現する場について	文化・スポーツ推進課 51
	③	人材活用の仕組みづくり	50	人材活用について	文化・スポーツ推進課 51
4 学習環境の整備	(1) 生涯学習施設の整備・充実				
	①	生涯学習施設の整備・充実	51	生涯学習施設の整備・充実について	文化・スポーツ推進課 53
	②	スポーツ施設の整備・充実	52	スポーツ施設の整備・充実について	文化・スポーツ推進課 53
	③	学校施設の活用	53	学校施設の活用について	学校教育課 54
	(2) 関係機関との連携推進				
	①	生涯学習ネットワークの展開	54	生涯学習ネットワークについて	文化・スポーツ推進課 54
	②	民間団体等との連携	55	民間団体等との連携について	文化・スポーツ推進課 55
	③	学校教育と社会教育の連携・融合	56	学校と地域が一体になった学習活動について	学校教育課 56
	(3) 情報提供の推進				
	①	情報紙の充実	57	生涯学習情報紙について	文化・スポーツ推進課 56
②	ホームページの充実	58	ホームページについて	文化・スポーツ推進課 57	
③	情報提供システムの構築	59	情報提供システムについて	文化・スポーツ推進課 58	

前半総括報告書の見方

【施策番号●】●●●●●について				
	●●課			
事業概要				
達成度	H29	H30	R1	R2
取組実績				
充足度				
総括 (成果・課題等)				
目標と方向性				

平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年計画において、どのような取り組みを行うのか概要を記載しています。

「事業概要・計画内容」に対する担当課としての自己評価です。SABC 表記で、評価内容は下記のとおりです。

S：予想を超える**良好な結果**を生み出したもの。総合的に勘案して事業が**着実に進捗している**と判断できる場合。

A：内容が**期待どおり**であるもの。総合的に勘案して事業が**ある程度進捗している**と判断できる場合。

B：期待を**やや下回る**内容で、なお一層努力して事業を進める必要があるもの。総合的に勘案して事業の**進捗が順調でない**と判断できる場合

C：期待を**顕著に下回る**内容で、事業の再検討や計画の下方修正が必要であるもの。総合的に勘案して事業が**進捗していない**と判断できる場合。

※達成度の評価は平成 30 年度から実施したため、平成 29 年度の欄を斜線しています。

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況の中で、どの程度事業が進捗したか、どのように工夫し事業を実施したかを評価しています。

過年度の 4 年間で施策に対して、どのような取り組み行ってきたのか概要を記載しています。

「事業概要・計画内容」に対する担当課としての自己評価です。

SABC の表記で、評価内容は下記のとおりです。

S：充足度が 100%以上

A：充足度が 80%以上 100%未満

B：充足度が 50%以上 80%未満

C：充足度が 50%未満

平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年計画に対する、令和 2 年度までの前半の成果や課題等のまとめを記載しています。

平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年計画に対する、令和 3 年度から令和 8 年度までの目標等を記載しています。

1 ライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 子育て世代の学習

① 家庭の教育力の向上

家庭の教育力を向上するため、城陽市民大学など家庭教育に関する学習機会の充実を図ります。

また、子育てにおいて、家庭での学習が重要であることから、読み聞かせの書籍、教材の充実など、図書館と連携し推進します。

【施策番号1】家庭教育に関する学習機会について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	家庭や地域の教育力の向上を図るための事業を行う。 ●城陽市民大学（教育コース）の実施（3講座）			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●城陽市民大学教育コースを開催した。 H29：3回、331人 H30：3回、287人 R1：3回、326人 R2：2回、60人 ※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、3回から2回に変更し人数制限を設けて実施。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	幼稚園、小・中学校のPTAにも参加を呼び掛け、またどの年代にも関心のある内容となるよう毎年テーマの設定を見直したことによりたくさんの方に参加していただけた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、様々な制限を設けたが、実施することができた。 講座の全てが平日の開催であるため、親世代の参加が少ない。			
目標と方向性	引き続き、幼稚園、小・中学校のPTA等に参加の呼び掛けを行い、どの年代にも関心のある内容となるようテーマ設定を行い、地域の教育力向上を図るため、親世代の参加者を増やすことに努める。			

② 子育て支援の充実

城陽市子ども・子育て支援事業計画に基づき、豊かなコミュニケーションが図れる子育て環境を整備し、子育て世代の育児不安解消のため、地域子育て支援センター「ひなたぼっこ」などにおける相談業務や情報提供の充実に努めます。

また、子育て世代のリフレッシュにつながる講座づくり等に努めます。

教育・保健・福祉分野など事業実施団体は情報を共有し、事業にいかし、多様な学習機会の提供に努めます。

【施策番号2】子育て世代の支援体制について				
子育て支援課				
事業概要	子育て世代の子育て支援の充実を図るための事業を行う。 ●子育て相談対応 ●あそびのひろば・公園・コミセン訪問 ●子育て支援講座の開催 ●情報誌（子どもワンダーニュース）の発行 ●多世代交流事業を実施 ●他の事業実施機関と連携した子育て支援の取組			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●子育て世代の子育て支援の充実を図るための事業を行った。 ・子育て相談対応 H29：1,489回 H30：1,386回 R1：1,024回 R2：765回 ・あそびのひろば H29：60回、1,377人 H30：60回、1,573人 R1：50回、1,048人 R2：7回、195人 ・出前ひろば（H29までは公園訪問事業として実施） H29：6回、52人 H30：4回、41人 R1：3回、112人 R2：13回、179人 ・子育て支援講座の開催 H29：18回、945人 H30：18回、1,154人 R1：18回、886人 R2：11回、403人 ・情報誌（子どもワンダーニュース）の発行 H29：6回 H30：6回 R1：6回 R2：4回 ・多世代交流事業の実施 H29：47回、1,386人 H30：67回、1,485人 R1：75回、1,597人 R2：38回、1,041人 ・他の事業実施機関と連携した子育て支援の取組 民生児童委員協議会や市民活動団体と連携し、子育て支援事業を行った。また、健康推進課と連携し子育てに不安を抱える養育者の支援に努めた。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	様々な講座等の実施により、ひなたぼっこの周知が図れ、子育て支援事業等への参加者も増えてきた。また、外部へ出向くことで、ひなたぼっこに来館しにくい方にも事業に参加してもらうことが出来た。			

	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、相談件数や講座の実施回数が減少した。また、実施場所についても保育園やコミセン等が利用できず、ひなたぼっこでの実施が増えた。
目標と方向性	引き続き、イベント実施等の情報を LINE 配信や情報誌の発行により、更なる周知を図る。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行うとともに予定している講座等を実施し、親の不安感の解消のための相談対応や子育て支援の充実を図る。

③ 幼児教育センター機能の充実

公私立幼稚園の連携を深め、家庭や地域との関わりを強化して、地域の幼児教育センターとして相談機能の充実に努めます。

【施策番号3】 幼児教育センターについて				
学校教育課				
事業概要	幼児教育センター機能の充実を図るための事業を行う。 ●園の1室を開放して子育て相談、情報提供、子育て交流（未就園児と保護者対象）			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●園の一室を開放して、子育て相談、情報提供、子育て交流を行った。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	対象年齢人口の減少やニーズの変化により利用者の変動はあるが、一定の利用があり事業が定着している。			
目標と方向性	引き続き、園の一室を開放し、子育てに関する相談や情報提供、子育て交流を行う。（未就学児と保護者対象）			

④ 地域活動の充実

子ども会後援会協議会などへの地域活動補助事業を通じて、地域における組織を育成するとともに、地域活動の支援を充実します。

【施策番号4】 地域活動の支援について	
文化・スポーツ推進課	
事業概要	地域社会が一体となった子育て支援を行うため、地域における組織を育成するとともに、地域活動の支援を充実させるための事業を行う。 ●城陽市子ども会後援会協議会の各種事業への指導・助言及び主要事業について運営面や広報活動面での支援 ●各種子ども会行事の広報活動（広報じょうよう、報道連絡）

達成度	H29	H30	R1	R2
	A			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●城陽市子ども会後援会協議会の各種事業への指導・助言を行った。 ・総会への支援 ・令和2年度の設立50周年記念式典への支援 ●城陽市子ども会後援会協議会の主要行事において、運営面や広報活動面で支援を行った。 ・スポーツまつり ・城陽いろはかるたあそび 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	城陽市における児童数の減少や、子供を取り巻く社会情勢の変化に伴い、子ども会後援会協議会への加入する支部の減少が見られる。			
目標と方向性	今後、子ども会後援会協議会に加入している支部が減少することがなくなるよう、組織運営や事業計画に対して、相談や指導を積極的に行う。			

(2) 子どもの学習

① 学習機会の充実、体験活動の推進

国際化に対応した国際理解教育、自然と人間の調和をめざす環境教育、高度情報化に対応した情報教育を推進します。

また子どもの健康と、豊かな心をはぐくむため、自然を活用した体験講座や伝統文化を取り入れた生活体験講座など放課後子ども教室、土曜子ども教室や文化パーク城陽におけるプレイルーム事業、プラネタリウム投映事業、天体観測、コミュニティセンターにおける子ども向け事業、図書館における読み聞かせ事業、自然とのふれあい登山事業、あそびのはくぶつ館の開催など、各種の体験学習機会を充実します。

【施策番号5】国際理解・情報・体験学習について				
学校教育課				
事業概要	児童・生徒の豊かな心、生きる力を育成するため、国際化に対応した国際理解教育や自然と人間の調和をめざす環境教育を推進するための事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●英語指導助手の各小中学校巡回配置 ●各小中学校のコンピュータ教室の維持管理 ●新学習指導要領に基づいた「生きる力」の育成 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	A			
取組実績	●5名体制の英語指導助手について、平成30年度から8名体制、令			

	<p>和2年度から6名体制とし国際化に対応した国際理解教育に努めた。 ※令和2年度は10名体制を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により6名体制となった。</p> <p>●各小中学校のコンピュータ教室の維持管理を行い、児童生徒一人1台のタブレットや無線LAN環境を整備し、情報教育に努めた。</p> <p>●新学習指導要領に基づき、「生きる力」の育成を目指し、各学校で農作業体験等について、特色ある教育課程を編成し、総合的な学習の時間を中心に取り組んだ。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>英語指導助手の体制の拡充により、国際理解教育の推進を図ることができた。</p> <p>ICT環境の整備を進め、情報教育の推進を図ることができた。</p> <p>特色ある教育課程を編成し、「生きる力」の育成を図ることができた。</p>			
目標と方向性	<p>英語指導助手の10名体制を維持し、国際理解教育の推進を図る。</p> <p>ICT環境の適切な維持管理を行い、情報教育の推進を図る。</p> <p>特色ある教育課程を編成し、「生きる力」の育成を図る。</p>			
【施策番号6】文化パーク城陽における子ども向け事業について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	<p>子どもの健康と、豊かな心をはぐくむための事業を行う。</p> <p>●プレイルーム事業の実施 パルクリトルクラブ（20回） 大学生による工作教室など（15回）</p> <p>●プラネタリウム活性化事業 土日祝日および学校長期休業期間1日3回定時投映 平日は団体予約により投映</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		S	S	S
取組実績	<p>●プレイルーム事業を実施した。</p> <p>・パークリトルクラブ H29：11回 H30：10回 R1：9回 R2：4回</p> <p>・大学生による工作教室など H29：9回 H30：6回 R1：4回</p> <p>・幼児交通安全教室 H29：回 H30：2回 R1：2回 R2：1回</p> <p>・ひなたぼっこ連携事業 R1：1回 R2：1回</p> <p>パル祭</p>			

	R1：1回 ●プラネタリウム活性化事業を実施した。 ・土日祝日および学校長期休業期間 1日3回定時投映 ・平日は団体予約により投映
充足度	S
総括 (成果・課題等)	活発に事業展開することができた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止とした事業もあったが、代替となる事業を実施することができた。
目標と方向性	引き続き、活発な事業展開を行っていくとともに、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上での事業実施を検討する。

② 学校・家庭・地域との連携

子どもの安全・安心な学習支援の場の確保として、放課後子ども教室や、学校支援地域本部事業、学校、家庭、地域が連携した学校・地域連携推進事業などの一層の充実を図ります。

実施において地域の自然や歴史、産業、福祉などの様々な分野で、地域の人々の持つ技能・知識・経験をいかした学習を推進します。

子どもと地域とのふれあいや世代間交流の場づくりに努めます。

【施策番号7】放課後子ども教室推進事業について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	子どもの安全・安心な学習支援の場を確保するための事業を行う。 ●古川放課後子ども教室の運営支援 水曜放課後、土曜日午前（土曜活用日など各種学校行事と調整し実施） ●富野土曜日子ども教室の運営支援（富野ふれあい図書室）年間10回、中期休業中は実施せず ●富野放課後子ども教室（富野っ子ふれあい教室）開設に向けての指導・連絡・調整 ●久世土曜日子ども教室の運営支援（久世ともだちランド）毎月第1・第3土曜日（土曜活用日など各種学校行事と調整し実施） ●青谷放課後子ども教室の運営支援 水曜放課後			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	放課後子ども教室、土曜日子ども教室の運営面で、地域コーディネー			

	<p>ターと連携し、各種サポートを行った。</p> <p>H29：富野小学校放課後子ども教室を平成29年10月より新規開設した。</p> <p>久世土曜日子ども教室を新たに補助金交付事業として、各種団体と連携を取りながら実施した。</p> <p>H30：青谷小学校放課後子ども教室を10月より新規開設した。</p> <p>R1：富野小学校放課後子ども教室と、富野土曜日子ども教室を整理統合した。</p> <p>R2：久津川小学校放課後子ども教室を9月より新規開設した。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>4小学校で、放課後子ども教室の新規開設をすることができた。</p> <p>各小学校における放課後子ども教室の地域コーディネーターとしっかり連携し、運営の支援を行うことができた。</p> <p>令和元年度末から令和2年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を見合わせる教室や期間もあったが、感染対策を施し、できる限り事業を実施した。</p> <p>放課後子ども教室の新規開設にむけた、地域コーディネーターやボランティアの確保が課題である。</p>
目標と方向性	<p>現在、開設している放課後子ども教室については、引き続き地域コーディネーターと連携を密にし、運営の支援を行う。</p> <p>放課後子ども教室の新規開設に向け、市内の各小学校や社会教育団体と連携し、地域コーディネーター及びボランティアの確保に努める。</p>

(3) 青少年、若者の学習

① 学習活動の充実、社会参加の促進

青少年や若者の社会性や自主性をはぐくむため、各種団体や地域活動、市の行事や委員会などへの参画を促進し、新たな参加できる場の拡大に努めます。

【施策番号8】自然とのふれあい登山について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	<p>青少年や若者の社会性や自主性をはぐくむための事業を行う。</p> <p>●自然とのふれあい登山の実施（年間11回） （市内在住小学校4年生～高校生・保護者対象）</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A

取組実績	<p>●年間 11 回の自然とのふれあい登山を計画し実施した。</p> <p>H29：6回、287人（悪天候により中止5回）</p> <p>H30：8回、390人（悪天候により中止3回）</p> <p>R1：8回、449人（悪天候による中止2回、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による中止1回）</p> <p>R2：7回、176人（悪天候による中止1回、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による中止3回）</p> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、定員を例年の60人から20人に縮小して実施。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>子どもたちが安全で楽しい登山ができるよう、年間の登る山を選定し、また下見では、危険箇所をしっかりと確認したことで、大きな事故やけがはなく実施できた。</p> <p>楽しく安全な登山を経験し、継続して参加する子どもが増え、参加人数が増えてきている。</p> <p>ふれあい登山におけるボランティアの人材確保と高齢化が課題である。</p>
目標と方向性	<p>今後も、安全を第一に考え、年間計画を立てるとともに、下見を丁寧に行い、危険箇所の把握に努める。</p> <p>ふれあい登山におけるボランティアの人材確保に努める。</p>

② 団体活動の振興

地域の青少年育成団体と協働して、地域活動、ボランティア活動などを促進し、豊かな心やボランティア精神の醸成を図るとともに、青少年育成団体や子ども会後援会、スポーツ少年団など地域における組織の育成を図ります。

【施策番号9】スポーツ少年団について				
	文化・スポーツ推進課			
事業概要	<p>地域ぐるみで青少年を健全に育成するまちを目指し、地域における組織の育成を図るための事業を行う。</p> <p>●スポーツ少年団に補助金交付</p> <p>●本部事務を引き受け、活動支援を行う</p> <p>●スポーツ少年団指導者協議会により異種目間の交流事業及び研修を実施する</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●スポーツ少年団に補助金を交付し、本部事務を引き受け、活動支援			

	<p>を行い、指導者協議会により異種目間の交流事業を実施した。 H29：259人 H30：216人 R1：246人 ※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>様々な種目の垣根を越えた交流が出来た。 今後は、より多くの団員が参加し、組織の育成につながるよう事業内容を工夫する必要がある。</p>
目標と方向性	<p>引き続き、スポーツ少年団に補助金を交付し、本部事務を引き受け、活動支援を行い、指導者協議会により異種目間の交流事業及び研修を実施することで、地域ぐるみで青少年を健全に育成するまちを目指し、地域における組織の育成を目指す。</p>

③ 青少年健全育成活動の推進

青少年健全育成市民会議の各種の活動を支援するとともに、関係機関との連携を深め、青少年の社会参加への支援を進めます。青少年健全育成活動を行うために、青少年の健全育成に対する理解を深めるため、講演会の開催など学習活動の充実に努めます。

【施策番号 10】青少年健全育成活動について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	<p>地域ぐるみで青少年を健全に育成するまちを目指し、地域における組織の育成を図るための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会を明るくする運動推進委員会と共催の「講演と映画のつどい」の企画・運営 ●年間11回の自然とのふれあい登山企画・運営 ●市内在住小学5、6年生、中学生及び30歳未満の青年を対象とした「青少年の意見発表会」の企画・運営 ●市民との協働の視点から「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」の取り組みの一環として、環境浄化部員との一斉立ち入り調査を実施 ●城陽市青少年健全育成市民会議広報誌「やまびこ」を年3回発行 ●あそびのはくぶつ館の開催 ●オータムコンサートの開催 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●社会を明るくする運動推進委員会と共催の「講演と映画のつどい」を開催した。 			

	<p>H29：約 200 人 H30：約 180 人 R1：220 人 ※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。</p> <p>●年間 11 回の自然とのふれあい登山を計画し、実施した。 H29：287 人 H30：390 人 R1：449 人 R2：176 人 ※悪天候や新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止あり。</p> <p>●市内在住小学 5，6 年生、中学生及び 30 歳未満の青年を対象とした「青少年の意見発表会」を実施した。 (応募点数) H29：2,627 点 H30：2,307 点 R1：2,364 点 R2：2,627 点</p> <p>●7 月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組として、城陽市青少健の環境浄化部とコンビニや書店、ネットカフェ等に立ち入り調査を実施した。 ※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。</p> <p>●城陽市青少年健全育成市民会議広報誌「やまびこ」を年 3 回発行し、全戸配布した。</p> <p>●城陽市青少年健全育成市民会議の主催で、あそびのはくぶつ館を開催した。 H29：約 3,000 名 H30：約 1,700 名 R1：約 3,000 名 ※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。</p> <p>●オータムコンサート実行委員会の主催で、オータムコンサートを開催した。 H29：約 850 人 H30：約 1,000 人 R1：約 1,000 人 R2：約 600 人 ※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため縮小して開催。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>「講演と映画のつどい」「あそびのはくぶつ館」「オータムコンサート」「青少年の意見発表会」等の事業において、毎年多くの方々に参加していただくことができた。</p> <p>城陽市青少年健全育成市民会議広報誌「やまびこ」では、市内の青少年健全育成の取組に関する内容や計画を多く掲載し、紹介することができた。</p>

	<p>令和元年度末から令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止せざるを得ない事業もあったが、「青少年の意見発表会」「オータムコンサート」「自然とのふれあい登山」については、感染拡大防止のため規模を縮小したものの、実施することができた。</p> <p>青少年完全育成の事業に関わっていただけるボランティアや協力者の確保が必要である。</p>
目標と方向性	<p>複雑化してきている青少年を取り巻く環境を正しく把握し、現状の課題に沿った内容となるよう、引き続き、青少年健全育成に関わる事業の内容の充実を図る。</p> <p>青少年完全育成の事業に関わっていただけるボランティアや協力者の確保に努める。</p>

(4) 勤労世代の学習

① 学習活動の支援

生涯学習に対する関心を高めるとともに、学習活動を促すため、学習情報の提供や学習内容などを充実します。また学びやすい学習環境を模索し提供に努めます。

【施策番号 11】 勤労世代の学習支援について				
商工観光課				
事業概要	<p>勤労世代も生涯学習活動が行えるよう、働く女性の家において、各種事業行う。</p> <p>●働く女性の家における各種講座の開催</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<p>●勤労世代も生涯学習活動が行えるよう、働く女性の家において、各種事業行った。</p> <p>H29：92回、1,203人 H30：91回、1,197人 R1：85回、787人 R2：96回、752人</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>平成30年度から、就労支援に特化した講座を増やした。</p> <p>また、令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、就労の機会が男女ともに失われていることを踏まえ、講座の受講対象を市内在住・在勤の女性または市内での就職を希望している女性から、市内在住・在勤の女性、市内在住で求職中の男性、または、市内での就職を希望している人（男性は概ね50歳以下）とし、生涯学習活動を行うための機会を増やした。</p>			
目標と方向性	引き続き、各種講座の開催を通じて働く女性等への支援を行う。			

② 関係機関との連携

城南地域職業訓練センターやカルチャーセンター、スポーツクラブなどと情報提供や講師の派遣などにおいて連携・協力し、職業能力向上の機会を充実します。

【施策番号 12】 関係機関との連携について				
商工観光課				
事業概要	勤労世代の学習活動を支援するための事業を行う。 ●城南地域職業訓練センター及び府立勤労者福祉会館からの各種講座案内を広報しようように掲載			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●城南地域職業訓練センター及び府立勤労者福祉会館からの各種講座案内を広報しようように掲載し、情報提供を行った。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	広く情報提供を行うことが出来た。			
目標と方向性	引き続き、城南地域職業訓練センター及び府立勤労者福祉会館にて実施する各種講座案内を広報しようように掲載し、情報提供を行う。			

(5) シニア世代、高齢者の学習

① 学習機会の充実

シニア世代、高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、仲間づくりや世代間交流、文化、スポーツ・レクリエーション活動などの機会を充実します。

【施策番号 13】 老人福祉センター、高齢者クラブへの支援について				
高齢介護課				
事業概要	シニア世代、高齢者の生きがいのある充実した生活が送れるよう学習機会の充実を図る。 ●老人福祉センター事業の実施（4施設） 高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、仲間づくりや世代間交流、文化、スポーツ・レクリエーション活動を実施 ●高齢者クラブへの補助金交付 高齢者の生きがいづくりと健康づくり等に役立ち、高齢者が要介護状態とならないための介護予防の役割を担っていることから、活動費の一部を助成し、活動を支援			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●老人福祉センター事業の実施（4施設）			

	<p>老人福祉センター4施設で医療・健康・生活に関わる講習会や、防災訓練、介護予防や各種教養の教室を行い高齢者の知識と教養の向上を図った。施設内浴場の維持管理費に充てるため、入浴料（1日100円）を徴収している。</p> <p>H29：入浴者数 25,135人、入浴料 2,513,500円 H30：入浴者数 22,221人、入浴料 2,222,100円 R1：入浴者数 19,172人、入浴料 1,917,200円</p> <p>※R2.3.6以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、浴場利用を中止。</p> <p>●高齢者クラブへの補助金交付 高齢者の生きがいつくりと健康づくり等に役立ち、高齢者が要介護状態とならないための介護予防の役割を担っていることから、活動費の一部を助成し、活動の支援を行った。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	高齢者の生きがいつくりや健康づくりの場を提供することができた。
目標と方向性	今後も、高齢者人口の増加及び高齢化率の上昇が見込まれていることから、高齢者の生きがいつくりや社会貢献などの社会参加活動の推進に継続して取り組んでいく。

② 社会参加の促進

シニア世代、高齢者の社会参加を促進するため、老人福祉センターや高齢者クラブ、シルバー人材センターにおける活動を支援します。

【施策番号 14】シルバー人材センターへの支援について				
高齢介護課				
事業概要	シニア世代、高齢者の社会参加を促進するための事業を行う。 ●シルバー人材センターの補助金交付			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●シルバー人材センターに対し運営費等経費の一部を補助し、高齢者の労働能力の活用と生きがいを助長して、高齢者の福祉の増進を図った。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	高齢者の労働能力の活用と生きがいつくりを通して、高齢者福祉の増進が図れた。			
目標と方向性	今後も、高齢者人口の増加及び高齢化率の上昇が見込まれているこ			

	とから、高齢者の生きがいづくりや社会貢献などの社会参加活動の推進に継続して取り組んでいく。
--	---

2 現代的・社会的課題に対応した学習機会の充実

(1) 現代的課題に対応した学習の推進

① 国際化社会に対応する学習の推進

語学講座をはじめとした国際交流事業を通して国際理解の環境づくりと学習機会を提供するとともに、市内に在住する外国人が、市民として安心して暮らせるよう、日本語習得への支援などを推進します。

【施策番号 15】国際交流事業について				
秘書広報課				
事業概要	国際化社会に対応する学習の推進を図るための事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●語学講座の開催 国際社会及び姉妹都市との相互理解を推進するため、語学講座を通して国際理解の環境作りと学習機会を提供する ●子ども英会話教室の開催 児童を対象とした実践的な英会話に親しむ機会を提供する ●日本語教室の開催 ボランティア日本語学習支援団体「夢気球」により外国籍住民に日本語学習の機会を提供し、多文化共生の推進を行い、また併せて日本語支援ボランティアの育成等を行う 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●語学講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・城陽市国際交流協会にて韓国語（年間5講座）、英語（年間6講座）、中国語（年間2講座）の語学講座、韓国語クラブ（年間15講座）等を開催した。 ●子ども英会話教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・城陽市国際交流協会において、子ども英会話事業を実施した。 ●日本語教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・城陽市国際交流協会にて外国籍住民の人々に継続的な日本語教室の機会を提供した。 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	国際社会に対応する学習の推進を、語学講座の開催を中心に図ることができた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により一部中止せざるを得ない事業もあったが、概ね開催することができた。			
目標と方向性	引き続き、国際社会に対応する学習の推進を図るための事業を実施			

	していく。
--	-------

② 情報化社会に対応する学習の推進

情報化社会の進展に対応して、市民が情報を上手に活用することができるよう、有害情報対策を含め情報提供に努めます。

【施策番号 16】 情報提供について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	情報化社会に対応する学習の推進を図るための事業を行う。 ●生涯学習情報の市 HP、市教委 HP への掲載 まなび Eye、市民大学、サンガ情報 等			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●情報化社会に対応する学習の推進を図るため、生涯学習情報の市 HP、市教委 HP へ掲載した。 まなび Eye、市民大学、サンガ情報 等			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	市 HP、市教委 HP に生涯学習情報を掲載し、市民が情報を活用することができるよう努めた。			
目標と方向性	引き続き、市民が情報を活用することが出来るよう、情報提供に努めていく。			

③ 自然・環境学習の推進

城陽市に存在する豊かな自然環境の保全や地域の緑化を推進するため、学習活動や啓発活動を充実します。

また、家庭でできる環境負荷低減策など、身近な環境問題に対する情報提供や学習活動を充実します。

【施策番号 17】 環境学習や啓発活動について				
環境課				
事業概要	自然・環境学習の推進を図るための事業を行う。 ●環境出前講座を市内保育園で実施 ●環境フォーラムにおいて、講演会やリメイクファッションショー等を実施 ●グリーンカーテンの啓発（ゴーヤ苗配布） ●エコ料理教室を開催（2回）			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A

取組実績	<p>●地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の取組として、環境出前講座を令和2年度を除き、毎年実施し、ミスト発生器の効果を園児に体験してもらった。</p> <p>●城陽環境パートナーシップ会議と共催した環境フォーラムにおいて、毎年、テーマを決め講演会を実施するとともにリメイクファッションショーを開催し、リサイクルの啓発を行った。（令和2年度については、リメイクファッションショーは未開催）</p> <p>●城陽環境パートナーシップ会議の活動として、令和2年度を除き、毎年自然観察会及び自然学習会の開催、省エネ診断を実施し、市民への情報提供や学習機会の充実を図った。</p> <p>●グリーンカーテンの啓発として、旬菜市にてゴーヤ苗を配布した。</p> <p>●家庭でできる環境取組として、令和2年度を除き、毎年エコ料理教室を開催した。</p> <p>※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を中止または縮小して実施。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施できた。			
目標と方向性	引き続き、自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施する。			
【施策番号 18】 緑化推進について				
都市政策課				
事業概要	<p>自然・環境学習の推進を図るための事業を行う。</p> <p>●城陽市緑化フェスティバルの開催</p> <p>●グリーンカーテン用のゴーヤ苗の配布</p> <p>●花いっぱい運動支援事業の実施</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<p>●城陽市緑化フェスティバルを開催した。</p> <p>H29：8,000人 H30：8,500人 R1：8,000人</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、中止し、代替事業としてポスター展示を実施</p> <p>●グリーンカーテン用のゴーヤ苗を配布した。</p> <p>H29：438世帯 H30：440世帯 R1：425世帯 R2：448世帯</p> <p>●花いっぱい運動支援事業を実施した。</p>			

	H29：37箇所 H30：37箇所 R1：33箇所 R2：32箇所
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>城陽市緑化フェスティバル、グリーンカーテン用のゴーヤの苗の配布及び花いっぱい運動支援事業をとおり、たくさんの方に緑化事業に参加していただいた。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、城陽市緑化フェスティバルを中止し、代替事業としてポスター展示を実施した。</p>
目標と方向性	引き続き、市民に緑化事業への参加を呼びかけ、自然・環境学習の推進を図るため、事業への参加者・参加団体を増やすことに努める。

④ 健康学習の推進

健康で豊かな生活を送ることができるよう、健康教室、健康相談などの開催、健康意識の高揚や健康管理に必要な情報提供などを充実します。

【施策番号 19】健康学習について				
				健康推進課
事業概要	<p>健康で豊かな生活ができるよう、健康学習の推進を図るための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康・食生活相談の実施（48回） ●健康相談の実施 ●JOYOヘルスアップ講座の実施（46回） ●認知症予防教室の開催（26回） ●重症化予防の訪問指導の実施 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●健康学習の推進を図るための事業を毎年度実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康・食生活相談実施 H29：24回、478人 H30：24回、439人 R1：24回、379人 R2：24回、224人 ・JOYOヘルスアップ講座の実施 H29：23回、延べ744人 H30：23回、延べ809人 R1：23回、延べ584人 R2：16回、延べ183人 ・認知症予防教室の開催 H29：13回、延べ657人 H30：13回、延べ593人 R1：13回、延べ488人 R2：5回、延べ71人 			

	<p>・重症化予防の訪問指導の実施 H29：91人 H30：259人 R1：212人 R2：5人</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>健康相談や健康講座・教室を毎年度開催し、たくさんの方に参加いただくことが出来た。</p> <p>重症化予防のため訪問は、令和元年度までは初年度より実施数が増加していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施数が激減した。</p> <p>健康講座・教室は、健康に関心の高い方の参加が多いことから、それ以外の方にも健康学習の推進を図るために、訪問指導の実施数を増加させる必要がある。</p>
目標と方向性	<p>引き続き、健康相談、健康講座・教室を開催し、健康学習の推進を図る。</p> <p>また、訪問指導を通して、健康への関心が高くない方も含めた健康学習の推進を図る。</p>

⑤ 食に関する学習の推進

市民が食に関する知識を習得し、健全な食生活を実践することができるよう、食生活改善推進員（ヘルスマイト城陽）との連携などを通して食についての学習機会の充実を図ります。

【施策番号 20】食に関する学習について				
健康推進課				
事業概要	<p>健全な食生活を実践することができるような事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1歳8か月児健康診査における手作りおやつを試食提供（48回） ● 3歳児健康診査における野菜を試食提供（48回） ● ママパパ教室における試食提供（8回） ● 成人健康教育における調理実習（2回） ● 健康づくり計画推進のための試食提供または調理実習（11回） 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<p>● 健全な食生活を実践することができるような事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳8か月児健康診査における手作りおやつを試食提供 H29：24回 H30：24回 R1：22回 R2（展示のみ）：26回 ・ 3歳児健康診査における野菜を試食提供 H29：24回 H30：24回 R1：22回 R2（展示のみ）：26回 ・ ママパパ教室における試食提供 			

	<p>H29：4回 H30：4回 R1：4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人健康教育における調理実習 <p>H29：2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり計画推進のための試食提供または調理実習 <p>H29：6回 H30：5回 R1：5回</p> <p>※令和2年度については、試食提供・調理実習は実施せずに、事業の中で食に関する展示を行った。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>1歳8か月児健康診査や3歳児健康診査、ママパパ教室の場を活用して試食の提供を行うことで、20～30歳代の若い世代の方に、分かりやすく乳幼児及び成人の食生活に活用できる情報を提供することが出来た。</p> <p>成人期・高齢期の世代の方を対象とする調理実習は参加者が少なかったことから、実施方法を検討し食生活に関する個別相談を行うことにより、各家庭の実情に応じた情報提供を行うことが出来た。</p>
目標と方向性	<p>引き続き、若い世代の方が来所する保健事業を通して、健全な食生活を実践できるような取り組みを行う。一方で、個別の相談事業を通して健全な食生活を実践できるよう情報提供を行っていく。</p>

⑥ 消費生活に関する学習の推進

商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るため、消費生活に関する学習や情報提供を充実します。

【施策番号 21】消費生活について				
商工観光課				
事業概要	<p>消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送ることができるよう事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種講座の実施 消費生活連続講座、消費生活講座、出前講座、くらしに生かす通信講座の実施 ●各種情報提供の実施 くらしの110番記事、消費生活展、啓発冊子等の配付、成人式用啓発冊子を配布、消費生活だよりを年1回発行（広報じょうよう特集号） 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	A		A	A
取組実績	●各種事業を実施した。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活連続講座 H29：5回、96人 ・消費生活講座 H29：2回、71人 H30：4回、105人 R1：4回、146人 ・くらしに生かす通信講座 H29：1回、50人 H30：1回、29人 R2：1回、9人 ・出前講座、高齢者施設での講座等 H30：5回、136人 R1：8回、223人 ●各種情報提供を実施した。 ・くらしの110番記事（H29～R2） ・消費生活展（H29～R1） ・啓発冊子等の配付（H29～R2） ・消費生活だよりを年1回発行（広報しょうよう特集号）（H29～R2）
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>各種講座を継続的に開催することにより、商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るための学習機会の提供を行った。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、消費生活講座や消費生活展が実施できなかったが、くらしに生かす消費生活通信講座を実施し、自宅でも学習できる機会の提供ができた。</p>
目標と方向性	引き続き各種講座を継続的に開催することにより、商品やサービスについて、消費者としての正しい知識を持ち、豊かな消費生活を送るための学習機会の提供を行う。

⑦ 地域防災・安全に関する学習の推進

災害の歴史、防災について認識を深める学習の提供や、被災時における対応などについての学習を推進します。

【施策番号 22】地域防災・安全について				
危機・防災対策課				
事業概要	<p>地域防災・安全に関する学習の推進を図るための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災啓発冊子の作成 <p>作成後、平成30年度に全戸配布を行い、災害発生時の迅速な避難行動を促し防災意識の高揚を図る。</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●防災啓発冊子の全戸配布を実施した。			

	<p>平成 29 年度に作成した防災啓発冊子について、平成 30 年度に全戸配布（32,820 部）を行い、災害発生時の迅速な避難行動を促し防災意識の高揚を図った。</p> <p>また、全戸配布以後も転入者や希望者に対して窓口で配布を行った。さらに、令和 2 年度には 1,500 部の増刷を行った。</p>
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>災害発生時の迅速な避難行動を促し防災意識の高揚を図れた。</p> <p>また、出前講座のテキストとしても活用した。</p> <p>水防法の改正に基づく府管理河川の想定最大の洪水浸水想定区域及び浸水深の見直し、避難勧告等に関するガイドラインの改訂と近年の府水害被害を受け、よりわかりやすい情報発信に向けての改正が進められており、防災啓発冊子の内容の更新が必要である。</p>
目標と方向性	<p>防災啓発冊子の更新を令和 3 年度中に行い、全戸配布を行う。</p> <p>また、災害発生時の迅速な避難行動を促し防災意識の更なる高揚を図る。</p> <p>市民の安心・安全を図るために情報の最新化及び最新情報に基づく啓発が必要であるため、防災啓発冊子の更新を行い、全戸配布する。</p>

(2) 人権や平和、男女共同参画の推進

① 基本的人権の尊重

第 2 次城陽市人権教育・啓発推進計画に基づき、市民が、それぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、多様な機会の提供、効果的な手法を取り入れることなどにより、生涯のあらゆる機会を通じて人権について学ぶことができるよう取組を推進します。

特に、地域の実情に応じた情報提供や学習機会の提供の充実を図るとともに、市民ニーズにあったテーマ設定による人権教育・啓発を推進します。

【施策番号 23】人権教育・啓発について		市民活動支援課			
事業概要	<p>人権文化の構築、平和な社会の実現を目指すための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山城人権ネットワーク推進協議会への参画 ●人権啓発新聞を年 2 回発行 ●「人権の花」運動の実施 ●6 月、8 月、12 月に街頭啓発活動実施 ●各種人権関係研修会等への参加による職員の意識啓発 ●企業人権研修会の開催（商工会議所と人権擁護委員との共催） ●職員人権研修会の開催（人事課との共催） 				
達成度		H29	H30	R1	R2

		A	A	A
取組実績	<p>●企業人権研修会を開催した。 H29：22人 H30：24人 R1：18人 R2：16名</p> <p>●職員人権研修会を開催した。 H29：124人 H30：364人 R1：37人</p> <p>※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	人権文化の構築、平和な社会の実現を目指し、第2次城陽市人権教育・啓発推進計画に基づき、山城人権ネットワーク推進協議会への参画や、街頭啓発及び人権研修会等を通じて人権啓発を行った。			
目標と方向性	人権文化の構築、平和な社会の実現を目指し、第2次城陽市人権教育・啓発推進計画に基づき、山城人権ネットワーク推進協議会への参画や、街頭啓発及び人権研修会等を通じて人権啓発に取り組むとともに、市民がそれぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、ニーズに応じたテーマ設定による人権教育・啓発を推進する。			

② 平和学習の推進

戦争の悲惨さ、平和の尊さ、生命の大切さを後世に伝えるため、平和都市宣言の趣旨に基づき、平和に関する啓発活動や学習活動を推進します。

【施策番号 24】平和に関する啓発活動や学習活動について				
秘書広報課				
事業概要	<p>平和に関する啓発活動や学習活動を推進するための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平和のための小中学生広島派遣事業の実施 ●永遠の希い配布事業の実施 ●平和のつどい事業の実施 ●平和祈念の黙禱 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<p>●平和に関する啓発活動や学習活動を推進するための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和のための小中学生広島派遣事業の実施 <p>毎年度、1泊2日で市内に住む小学6年生～中学3年生を対象とした「平和のための小中学生広島派遣事業」を実施した。</p> <p>※令和2年度のみ、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によ</p>			

	<p>り、中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 永遠の希い配布事業の実施 戦争体験記「永遠の希い」を市内中学校卒業生を対象に配布した。 • 平和のつどい事業の実施 例年7月に文化パーク城陽市民プラザにおいて、「城陽市平和のつどい」と題し、原爆、戦争に関するパネル展示や DVD 放映等を行った。 • 平和祈念の黙祷 原爆死没者や戦没者への慰霊、平和祈念のための黙祷を実施、また、市民への周知のため広報じょうようへの掲載やサイレンの吹鳴を実施した。
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>平和に関する啓発活動や学習活動を推進するための事業を概ね計画通りに実施することができた。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、広島派遣事業の中止もあったが、そのほかの事業は感染症対策をできる限り行うことで事業を実施した。</p>
目標と方向性	引き続き、事業を通じて、戦争の悲惨さや命の尊さを伝えるため、事業を実施していく。

③ 男女共同参画の推進

第3次城陽市男女共同参画計画（さんさんプラン）に基づき、男女共同参画の推進に努めるとともに、城陽市男女共同参画支援センター（ばれっと JOYO）を拠点として、市民や市民活動団体と協働し、男女共同参画に関する啓発活動や情報提供、学習機会などを充実します。

【施策番号 25】男女共同参画について				
	市民活動支援課			
事業概要	<p>男女が互いに尊重し、その個性や能力を発揮できる環境づくりを進め、男女共同社会の実現を図るための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中学生冊子の発行 ●さんさんフェスタ等のイベントや各種啓発講座の開催 ●広報特集号「はんなりと城陽」の発行 ●図書の貸し出し、新聞、インターネットの閲覧 ●男女共同参画推進登録団体とともに男女共同参画を進めるための事業の開催 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	A		A	A

取組実績	<p>●男女が互いに尊重し、その個性や能力を発揮できる環境づくりを進め、男女共同社会の実現を図るための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生冊子の発行 ・さんさんフェスタ等のイベントや各種啓発講座の開催 H29：25 講座 H30：24 講座 R1：51 講座 R2：51 講座 ・広報特集号「はんなりと城陽」を年2回発行 ・図書の貸し出し H29：362 冊 H30：330 冊 R1：315 冊 R2：134 冊 ・新聞の配架 ・インターネットの閲覧 H29：86 件 H30：52 件 R1：39 件 R2：8 件 ・男女共同参画推進登録団体とともに男女共同参画を進めるための事業を開催 H29：5 団体 H30：8 団体 R1：9 団体 R2：6 団体
充足度	A
総括 (成果・課題等)	男女が互いに尊重し、その個性や能力を発揮できる環境づくりを進め、男女共同社会の実現を図るために各種講座の実施や、中学生向け冊子の発行等を行った。
目標と方向性	男女が互いに尊重し、その個性や能力を発揮できる環境づくりを進め、男女共同社会の実現を図るために市民や市民活動団体と協働し、男女共同参画に関する各種啓発活動を推進する。

④ 情報化社会に対応する人権の推進

インターネットにより社会は多様化・複雑化しており、情報化社会上のいじめなど人権問題について理解と認識を深め、啓発の研修会等を実施します。

【施策番号 26】情報化社会に対応する人権について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	<p>情報化社会に対応する人権の推進を図るための事業を行う。</p> <p>●城陽市民大学（人間コース）の実施（3講座）</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<p>●城陽市民大学人間コースを開催した。</p> <p>H29：3回、355人 H30：3回、308人 R1：3回、445人 R2：2回、39人</p> <p>※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、3回から2回に変更し人数制限を設けて実施。</p>			

充足度	A
総括 (成果・課題等)	「人権」という言葉にとらわれず、幅広く生き方について考えてもらえるようテーマ設定を行ったことによりたくさんの方に参加していただけた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、様々な制限を設けたが、実施することができた。
目標と方向性	引き続き「人権」という言葉にとらわれず、幅広く生き方について考えてもらえるようテーマ設定を行い、情報化社会に対応する人権の推進を図るための事業となるよう努める。

(3) 福祉学習の推進

① 地域福祉の意識向上

城陽市地域福祉計画に基づき障がいや高齢等により、支援や介護が必要な状態であっても、自分に応じた方法で生涯を通じて自己実現を果たせるよう、さまざまな関係機関との連携を深めて、多彩な学習機会の提供について検討します。

【施策番号 27】 地域福祉について				
福祉課				
事業概要	地域福祉の意識向上を図るための事業を行う。 ●学校における福祉教育の実施（福祉協力校の指定、高齢者や障がい者との交流、福祉体験学習） ●地域団体が行う福祉学習への支援			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●地域福祉の意識向上を図るための事業として、学校における福祉教育の実施や地域団体が行う福祉学習への支援、また両者が円滑に連携を図れるよう、研修情報交換会等を実施した。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	児童・生徒は学年が変わるごとに違うことを学び、また同じことを繰り返すことでも対象の児童・生徒は変わっていく。 広く福祉的な教育を実施するためには、継続して実施することが重要である。			
目標と方向性	引き続き継続実施するが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がどの程度継続するかも見通せないため、現状に合わせた実施の検討が必要である。			

② 障がいのある人の学習機会の充実

城陽市民大学などの学習機会を充実するとともに、障がいのある人の学習活動を保障するため、要約筆記や手話などの支援策を充実します。

また、障がいのある人が身近でより多様な文化・スポーツを楽しむことができるよう、文化・スポーツ活動の参加機会の充実に努めます。

【施策番号 28】障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実を図るための事業を行う。 ●城陽市民大学（ライフコース）の実施（3講座）及び要約筆記、手話通訳者の派遣			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●城陽市民大学ライフコースを開催した。 H29：2回、258人 H30：3回、360人 R1：3回、373人 R2：2回、45人 ※平成29年度については、警報の発令により1回中止。 ※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、3回から2回に変更し人数制限を設けて実施。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	各協会を通じてチラシの配布を行ったことによりたくさんの方に参加していただけた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、様々な制限を設けたが、実施することができた。			
目標と方向性	引き続き、各協会を通じてチラシを配布し、障がいのある人の文化・スポーツ活動の参加しやすい学習機会の提供に努める。			
【施策番号 28】障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実を図るための事業を行う。 ●心身障がい児者スポーツ大会の後援 ●スポーツ推進員による大会の運営に協力 ●ボッチャ大会の実施 ●2020年パラリンピックに関連する事業の府と協力 ●プラムイン城陽の宿泊室4室のバリアフリー化等の改修			
達成度	H29	H30	R1	R2

		A	A	A
取組実績	<p>●障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実を図るための事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身障がい児者スポーツ大会の後援 ・スポーツ推進委員による大会の運営に協力 ・ボッチャ大会の実施（各年1回〔計4回〕） ・2020年パラリンピックに関連する事業の府と協力（小学校4校にて京都府オリパラ教育推進事業を実施） ・プラムイン城陽の宿泊室4室のバリアフリー化等の改修 ・パラリンピック教室の開催（R1、R2） 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>心身障がい児者スポーツ大会の後援、スポーツ推進員による同大会の運営協力、ボッチャ大会等の実施により、障がいのある人のスポーツ活動の充実に資することが出来た。</p> <p>また、京都府オリパラ教育推進事業の実施により、地域の小学生に対し、文化・スポーツ活動の学習機会の充実を図ることが出来た。</p> <p>さらに、プラムイン城陽の宿泊室4室のバリアフリー化等の改修をしたことで、パラリンピック強化選手の宿泊施設として使用可能になる等の充実が図られた。</p>			
目標と方向性	引き続き、障がいのある人の文化・スポーツ活動の学習機会の充実を図るための事業を行う。			

③ 障がいに関する理解の促進

市民一人一人が障がいに関する正しい知識と認識を深め、障がいのある人との相互理解を促進し、障がいの有無に関わらず共に助け合い、学び合う学習活動を推進します。

【施策番号 29】障がいに関する理解の促進について				
福祉課				
事業概要	<p>障がいに関する理解の促進を図るための事業を行う。</p> <p>●市民講座の開催（4回）</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	C
取組実績	<p>●障がいに関する理解の促進を図るための市民講座を実施した。</p> <p>H29：4回、132人 H30：4回、170人</p> <p>R1：4回、180人</p> <p>※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。</p>			

充足度	A
総括 (成果・課題等)	市民一人一人が障がいに関する正しい知識と認識を深め、障がいのある人との相互理解を促進し、障がいの有無に関わらず共に助け合い、学び合う学習活動を推進することができた。
目標と方向性	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催方法等を検討する。 定期的に市民講座を開催することで、障がいに関する理解を促進する。

(4) 文化芸術活動の振興、文化財や歴史の保存継承の推進

① 文化芸術活動への支援

市民および文化団体などとの協働により、さらなる文化芸術活動を推進するため文化芸術協会への補助を通じ団体活動の支援を行います。

【施策番号 30】文化芸術活動の振興について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	地域の文化芸術活動を活発にし、文化力を高め、文化の香り高いまちづくりを目指した事業を行う。 ●文化芸術推進会議の開催（2回） ●第2次文化芸術振興計画の進行管理 ●文化芸術賞等表彰 ●文化芸術表彰チラシの作成 ●文化芸術協会への補助金交付			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●地域の文化芸術活動を活発にし、文化力を高め、文化の香り高いまちづくりを目指した事業を行った。 ・文化芸術推進会議の開催 ・第2次文化芸術振興計画の進行管理 ・文化芸術賞等表彰 ・文化芸術表彰チラシの作成 ・文化芸術協会への補助金交付			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	第2次文化芸術振興計画に沿った文化芸術活動を推進することができた。			
目標と方向性	引き続き、本市の文化活動の推進に努め、文化の香り高いまちづくりを目指す。			

② 文化財保護意識の普及・啓発

市民の文化財保護意識を向上し郷土愛をはぐくむため、文化財の普及・啓発に努めるとともに、地域の歴史や伝統文化、行事の保存・継承に努めます。

【施策番号 31】文化財保護意識の普及・啓発について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	市民の文化財保護意識を向上し、郷土愛をはぐくむための事業を行う。 ●出土遺物の整理・資料化 ●久津川車塚古墳整備に向けた発掘調査 ●史跡地等8ヶ所について、適切な保護・保存 ●文化財を維持管理や保存するために補助金を交付 ●エコミュージアム事業の実施			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●市民の文化財保護意識を向上し、郷土愛をはぐくむための事業を行った。 ・出土遺物の整理・資料化を進めた。 ・久津川車塚古墳整備に向けた発掘調査を継続的に実施した。 ・史跡地等 10ヶ所について、日常管理や植栽管理等により適切な保存・活用のための管理を行った。 ・市指定文化財等の修理や維持管理・災害復旧等のため、適切に補助金を交付した。 ・エコミュージアム事業として、ツアーイベントや講座、地域資源キャラクターの活用等の取り組みを実施した。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	出土遺物の整理は、継続的に作業を実施し、資料化を進めることができた。 久津川車塚古墳の発掘調査は、平成 26 年度から継続して実施し、古墳の規模・形態・構造等を復元していくための貴重な成果が得られている。調査成果については、現地説明会や歴史民俗資料館での展示を通じて広く公開を行っている。 史跡地等の管理は、草刈りや隣接住民等の要望に応じた樹木剪定・伐採を実施し、適切な維持管理に努めた。 文化財の補助金事務については、文化財を適切に保存していくため、所有者と連携して、文化財の修繕・維持管理事業、台風等に伴う災害復旧事業を円滑に進められるように努めた。 エコミュージアム事業は、ツアーなど地域資源の周知のための取り			

	組みを実施してきており、今後も継続的に展開していく必要がある。
目標と方向性	<p>出土遺物の整理は、引き続き継続的に作業を進め、適切な出土遺物の保存に取り組む。</p> <p>史跡整備に伴う久津川車塚古墳の発掘調査は、引き続き文化庁・府・城陽市史跡整備委員会等と十分に調整を行いながら実施し、史跡整備に必要な資料を得られるように努める。</p> <p>史跡地等の管理は、今後も継続して適切な維持管理に努めるとともに、地域資源として市民とともに積極的に活用していくことを目指す。</p> <p>文化財の補助金事務は、所有者と連携して日常的な指定文化財等の状態把握に努め、修繕や維持管理の措置が必要になった場合には、その方法等について十分協議し、適切に実施する。</p> <p>エコミュージアム事業は、行政各部署や各市民団体などが連携をとり事業を展開するとともに、市内外へのPRに努める。</p>

③ 歴史民俗資料館の充実

ふるさとの文化遺産を次代に伝承していくため、歴史民俗資料館の展示の充実を図るとともに、歴史民俗資料、古文書、民具などの調査研究を推進します。

また、市民と学校教育や観光などと連携し、市の資源をいかして市内外へ城陽市の魅力を広め活性化させる取組みである「エコミュージアム」の拠点として歴史民俗資料館を活用していきます。

【施策番号 32】 歴史民俗資料館について				
歴史民俗資料館				
事業概要	<p>文化遺産を次代に伝承していくための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●貸館業務 ●古文書・民俗文化財調査 ●資料館友の会・おかげ踊りを広める会に関する業務 ●展示業務 ●普及業務 <p>勾玉教室、考古学教室、体験教室、古文書講座、昔の暮らし体験授業</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●貸館、古文書・民俗文化調査、資料館友の会に関する業務・おかげ踊りを広める会に関する業務、展示業務及び普及業務を実施した。 ・貸館業務 <p>H29：特別展示室 2回 H30：特別展示室 1回</p> <p>R1：特別展示室 1回・工作室 1回 R2：特別展示室 1回</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> • 古文書・民俗文化財調査 H29：9回 H30：14回 R1：13回 R2：21回 • 資料館友の会に関する業務 H29：12回 H30：15回 R1：11回 • おかげ踊りを広める会に関する業務 H29：15回 H30：14回 R1：14回 R2：7回 • 展示業務 H29：特別展示室：4回、6,921人 H30：特別展示室：4回、9,263人 R1：特別展示室：4回、6,360人 R2：特別展示室：3回、3,123人 • 普及業務 H29：41回、874人 H30：43回、892人 R1：46回、753人 R2：45回、984人 ※令和2年度に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により、一部もしくは全部を中止。
充足度	A
総括 (成果・課題等)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、各業務の参加人数・回数とも減少となったが、平成30年度開催の夏季特別展においては4千人を超える観覧者が訪れるなど増加が図れ、また、普及業務など他の業務においても大きく減少することなく実施することができた。
目標と方向性	引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じつつ、市民ニーズに合った特色のある特別展・企画展等を開催するとともに、ホームページやフェイスブックなどSNSを活用したPR活動を強化するなど、利用者の増加に向けて取り組む。

(5) スポーツ・レクリエーション活動の振興

① 活動機会の充実

多くの市民が健康で生きがいを持って暮らせる社会づくりに向け、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、市民ニーズに沿ったプログラムの提供に努めるとともに、スポーツ活動を通じた体力づくり、地域づくりの機会や場の充実に努めます。

【施策番号 33】スポーツ・レクリエーション活動機会の充実について	
文化・スポーツ推進課	
事業概要	<p>市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる事業を行う。</p> <p>●各種スポーツ大会（5事業）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●各種スポーツ教室（5事業） ●三朝町文化・スポーツ交流 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる事業を行った。 ・各種スポーツ大会（年間5事業） ・各種スポーツ教室（年間5事業） ・三朝町文化・スポーツ交流 <p>※令和元年度よりオリパラ教室を実施した（年間1回）。</p> <p>※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により一部事業を中止。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	各種スポーツ大会、スポーツ教室及び三朝町文化・スポーツ交流事業を実施し、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる事業を行うことができた。			
目標と方向性	引き続き、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる事業を行う。			

① 関係団体との連携と支援

市民一人一人が日常生活の中にスポーツ・レクリエーションを取り込み定着できるよう、また、スポーツ活動を通じた地域交流が推進されるよう、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどの関係団体と連携するとともに、その活動を支援します。

【施策番号 34】 関係団体との連携について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	市民のスポーツ・レクリエーション活動を振興するための連携を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ●社会体育振興会・スポーツ協会・スポーツ少年団との連携 ●補助金交付団体の事業、会議への職員派遣 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	●社会体育振興会・スポーツ協会・スポーツ少年団との連携及び補助金交付団体の事業、会議への職員派遣を行った。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	スポーツ少年団がスポーツ協会に加入し、連携が深まった。 当面の間、文化・スポーツ推進課内にスポーツ少年団の事務局を置			

	くこととなっているため、今後は当該団体の自立を促す必要がある。
目標と方向性	引き続き、市民のスポーツ・レクリエーション活動を振興するため、社会体育振興会・スポーツ協会・スポーツ少年団に補助金を交付するとともに、事業・会議に職員を派遣することで連携を深める。

② 指導者の育成

ニュースポーツをはじめとした各種スポーツの普及と定着を図るため、指導者の育成や確保に努めます。

【施策番号 35】指導者の育成・確保について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	各種スポーツの普及と定着を図るため、指導者の育成や確保するための事業を行う。 ●スポーツ推進委員の各種研修会への参加 ●市内のスポーツ団体へ指導者育成の情報等を提供			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●スポーツ推進委員の各種研修会に参加し、スポーツ推進委員としての職務及び他団体の取り組みについて学ぶとともに、各種スポーツの普及と定着を図るため、主催事業の開催や各種地域事業への協力等に取り組んだ。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	参加した研修会の内容を主催事業等で実践するとともに、各種事業に協力し、市内のスポーツ振興に努めた。			
目標と方向性	引き続き、スポーツ推進委員の各種研修会に参加し、スポーツ推進委員としての職務及び他団体の取り組みについて学ぶとともに、各種スポーツの普及と定着を図るため、主催事業の開催や各種地域事業への協力等に取り組む。			

④ 総合型地域スポーツクラブの支援

いつでも、だれでも、いつまでもスポーツができる環境づくりと、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図るため、総合型地域スポーツクラブの支援をします。

【施策番号 36】総合型地域スポーツクラブについて	
文化・スポーツ推進課	
事業概要	スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図るための事業を行う。 ●寺田西総合型地域スポーツクラブの支援

	補助金交付、広報掲載等			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組状況	●寺田西総合型地域スポーツクラブへの支援として補助金の交付及び広報への掲載等を行った。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	寺田西総合型地域スポーツクラブへの支援として補助金の交付及び広報への掲載等を行い、市民が気軽にスポーツクラブに参加できる環境を整えた。			
目標と方向性	引き続き、寺田西総合型地域スポーツクラブへの支援として補助金の交付及び広報への掲載等を行うとともに、新たな総合型地域スポーツクラブの創設を支援していく。			

(6) 読書活動の推進

① 図書館事業の充実

計画的な図書の実施とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどの子どもライブラリー、文学・歴史講座などの成人ライブラリーなどを充実し、市民の読書活動を推進します。

【施策番号 37】 図書館について				
図書館				
事業概要	市民の読書活動を推進するための事業を行う。 ●図書資料の充実 図書、雑誌・新聞及び視聴覚資料の購入 ●雑誌スポンサー制度の実施（29年度決定分：提供企業数9社／提供雑誌冊数25タイトル） ●子ども・成人ライブラリーなどの開催 ●としょかんまつり ●読書ボランティア登録団体主催事業の開催 絵本の読み聞かせ・人形あそびなど ●文化講演会、図書・雑誌リサイクル事業の充実 文化講演会 図書館リサイクルデー ●本の修理・読書ボランティア事業の開催 本の修理講習会 読書ボランティアネットワーク会議			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の読書活動を推進するための事業を行う。 • 図書資料の充実 H29：図書館（4,792冊）、コミセン図書室（2,538冊） H30：図書館（4,905冊）、コミセン図書室（2,608冊） R1：図書館（4,791冊）、コミセン図書室（2,603冊） R2：図書館（4,313冊）、コミセン図書室（2,427冊） • 雑誌スポンサー制度 H29：9社、25タイトル H30：9社、26タイトル R1：7社、22タイトル R2：7社、22タイトル • 子ども・成人ライブラリーなど H29：子ども向け 47回、974人 成人向け 10回、124人 H30：子ども向け 44回、816人 成人向け 10回、200人 R1：子ども向け 44回、772人 成人向け 11回、171人 R2：子ども向け 25回、222人 成人向け 8回、88人 • 「子ども読書の日記念」事業（としょかんビンゴ） H29：326人 H30：250人 R1：224人 • その他子ども向け事業 （読書感想文ナビ） H29：16人 H30：22人 （としょかんまつり） H29：153人 H30：57人 • 読書ボランティア登録団体主催事業 H29：8回、164人 H30：10回、393人 R1：6回、132人 • 文化講演会 H29：200人 H30：300人 R1：130人 R2：100人 • 図書・雑誌リサイクル事業 H29：3回、496人 H30：2回、393人 R1：2回、438人 • 読書ボランティアネットワーク会議 H29：3回、55人 H30：3回、36人 R1：2回、23人 • 本の修理講習会の開催 H29：8人 ※令和2年度に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により、一部もしくは全部を中止。
充足度	A
総括 (成果・課題等)	市民の読書活動を推進するため、0歳から参加できる「赤ちゃんおはなしオルゴール」や幼児・小学生を対象にした「子どもおはなしオルゴール」、成人向けの「大人のおはなし会」等を実施した。

	<p>また、文学や歴史、健康など利用者のニーズに応じたテーマで成人ライブラリーや文化講演会等を開催するとともに、その他の事業についても積極的な啓発及び取組を継続して実施することができた。</p> <p>図書館の蔵書 20 万冊を維持し、利用者のニーズに応じた図書の選定・長期間所蔵する図書の計画的な除籍を行うとともに、雑誌のスポンサー制度による企業等からの継続的な協力により雑誌コーナーを充実させ、利用者サービスの向上を図った。</p> <p>読書ボランティアサークル等への継続的な支援と育成を図り、ボランティアによる図書館事業への参加と読書活動を推進した。</p> <p>課題としては、入館者数及び貸出者数が減少していることが挙げられる。</p>
目標と方向性	<p>引き続き、市民の読書活動を推進するため、各種事業の積極的な啓発及び取組を継続していくとともに、図書館の蔵書 20 万冊を維持し、利用者のニーズに応じた図書の選定・長期間所蔵する図書の計画的な除籍を行っていく。</p> <p>また、利用者ニーズに沿った各種の講座・講演会等の事業を実施することで図書館利用者の増加を図るとともに、子どもの読書活動の推進につながる新たな事業にも取り組んでいく。</p> <p>さらに、市民の生涯学習支援に必要な情報を提供するための資料を充実させ、適切なレファレンス能力及び機能の向上に取り組んでいく。</p>

② コミセン図書事業の充実

計画的な図書の充実とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどを充実し、市民の読書活動を推進します。

【施策番号 38】 コミセン図書事業について				
市民活動支援課				
事業概要	市民の読書活動を推進するための事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●市民ニーズに応じた図書の選定 ●図書の更新 ●絵本の読み聞かせなどの事業の開催 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の読書活動を推進するための事業を行った。 ・市民ニーズに応じた図書の選定 ・図書の更新 ・絵本の読み聞かせなどの事業の開催 (コミセン図書室の利用者数、貸出冊数)			

	H29：95,341人、163,973冊 H30：95,796人、164,237冊 R1：87,510人、159,139冊 R2：68,205人、137,728冊
充足度	A
総括 (成果・課題等)	コミセン図書室の蔵書冊数 90,000 冊を維持するとともに、より多くの地域住民が気軽に図書室を利用できるよう、施設の適切な維持管理に努めた。
目標と方向性	計画的な図書の充実とともに、ボランティアグループなどと連携して、絵本の読み聞かせなどを充実し、市民の読書活動を推進する。

③ 図書システムの充実

図書館利用者へのサービスを充実するため、インターネットを利用した蔵書検索・予約や京都府図書館総合目録ネットワークへの完全参加など、より市民に利用しやすいシステムの充実に努めます。

【施策番号 39】 図書システムについて				
図書館				
事業概要	図書館利用者へのサービスを充実させるための事業を行う。 ●システム環境の整備 インターネットによる府内図書館の蔵書検索や予約を行う「京都府図書館総合目録ネットワーク」の活用 ●図書館ホームページによる各種ライブラリー、講座・講演会などの事業案内や新刊・おすすめ図書といった選定図書の紹介など積極的な情報の発信			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●システム環境を整備した。 ・京都府立図書館のインターネットサービスによる申込・借受冊数 H29：250冊 H30：225冊 R1：203冊 R2：183冊 ●図書館情報システムを活用した。 ・インターネット予約登録者数（累計）・予約冊数 H29：3,250人、17,145冊 H30：3,355人、17,468冊 R1：3,711人、16,869冊 R2：4,289人、26,122冊			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	図書館利用者へのサービスを充実させるため、府内図書館の蔵書検索や予約を行う「京都府図書館総合目録ネットワーク」を活用しシステム環境			

	<p>を整備した。</p> <p>また、東部コミセン図書室と青谷コミセン図書室に利用者検索用端末（OPAC）を設置した。</p> <p>図書館ホームページによる各種ライブラリー、講座・講演会などの事業案内や新刊・おすすめ図書といった選定図書の紹介など積極的な情報の発信を行った。</p> <p>課題としては、利用者検索用端末（OPAC）を設置していない北部コミセン図書室・南部コミセン図書室・今池コミセン図書室への導入及びインターネット予約の積極的な周知が挙げられる。</p>
目標と方向性	<p>図書館利用者へのサービスを充実させるため、引き続きシステム環境を整備していくとともに、利用者検索用端末（OPAC）を設置していない北部コミセン図書室・南部コミセン図書室・今池コミセン図書室への導入準備を進める。</p> <p>また、インターネット予約を積極的に周知していく。</p>

④ 子どもの読書活動の推進

城陽市子どもの読書活動推進計画に基づき、家庭や学校等、地域社会が連携して、子どもの読書活動を推進します。

【施策番号 40】子どもの読書活動について				
学校教育課				
事業概要	<p>家庭や学校、地域社会が連携して子どもの読書活動を推進するための事業を行う。</p> <p>●城陽市子どもの読書活動推進計画の推進</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<p>●城陽市子どもの読書活動推進計画について、学校の司書教諭との連絡会を中心に連携を図った。</p> <p>●市立図書館においても、学校での読み聞かせ等のボランティアに対し貸し出し冊数の増冊などの支援や、学校への貸し出し図書の充実を図った。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>城陽市子どもの読書活動推進計画について、学校の司書教諭との連絡会を中心に連携を図り、家庭や学校等の読書活動を推進するとともにあらゆる機会、場所において自主的に読書活動を行うことができる環境の整備に努めた。</p> <p>図書館においても、学校での読み聞かせ等のボランティアに対し支援</p>			

	<p>を行い、また学校への貸し出し図書の充実を図ることにより、子どもの読書教育を推進した。</p> <p>さらに、「読書ラリー」の取組により、読書への意欲の喚起と励行を図っている。</p>
目標と方向性	<p>楽しく読書ができる環境づくりを進め、『夢・創造』豊かな城陽っ子をはぐくむ。</p> <p>子どもの読書活動推進の基本目標を実現するため、家庭や学校・幼稚園・保育園、地域社会のそれぞれの場における読書活動を推進するとともに、三者が効果的に連携し、あらゆる機会・場所において自主的に読書活動を行うことができるよう社会全体で取り組んでいく。</p>

⑤ 高齢者・障がい者の読書環境の充実

高齢者や障がい者の読書活動を推進するため、大活字本や録音図書を充実するとともに、高齢者施設への本の貸出を検討します。

【施策番号 41】大活字本や録音図書の充実				
	図書館			
事業概要	<p>高齢者・障がい者の読書環境の充実を図るための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●視覚に障がいのある方への利用サービス 録音図書・点字図書・対面朗読室利用・郵便法による無料郵送 ●聴覚・言語機能に障がいのある方への利用サービス FAXによるサービス（所蔵の有無の問い合わせ・貸出と予約の申込） ●障がい者向け利用案内の発信 図書館ホームページに障がい者向けの利用案内を開設し、図書館利用の方法や情報を提供 ●「障害者差別解消法」に基づく障がいサービスの提供 同法を遵守した障がいサービスの提供 ●高齢者及び来館困難者の方への利用サービス FAXによるサービス（所蔵の有無の問い合わせ・貸出と予約の申込）・大活字本の貸出・拡大読書機の利用 ●大活字本図書の購入 ●老人福祉施設等に対する特別貸出の実施 登録のある市内の老人・介護老人福祉施設に対して、50冊迄の図書を1ヶ月間貸出 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	B		A	A
取組実績	●視覚に障がいのある方への利用サービスを実施した。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・録音図書貸出 H29：207点 H30：169点 R1：170点 R2：150点 ・点字図書貸出 H29：16点 H30：24点 R1：8点 R2：2点 ・対面朗読室利用 H29：11回 H30：26回 R1：19回 ●聴覚・言語機能に障がいのある方への利用サービスを実施した。(FAXによる申込可能) ●障がい者向け利用案内を発信した。(図書館ホームページに障がい者向け利用案内を掲載) ●「障害者差別解消法」に基づく障がい者へのサービスを提供した。(同法を遵守したサービスを提供) ●高齢者及び来館困難者の方への利用サービスを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・FAXによる申込可能 ・拡大読書機の利用可能 ・大活字本の貸出 H29：2,386冊 H30：2,552冊 R1：2,517冊 R2：2,756冊 ●大活字本図書を購入 H29：46冊 H30：44冊 R1：55冊 R2：32冊 ※令和2年度に新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、一部もしくは全部を中止。
充足度	A
総括 (成果・課題等)	<p>高齢者・障がい者の読書環境の充実を図るための事業として、様々なサービスを提供した。</p> <p>特に、視覚障がい者や高齢者が読みやすい本として、大活字本を積極的に購入し、多くの貸出しに繋げることができた。</p> <p>また、録音図書や点字図書を他の施設から取り寄せて貸出し、障がい者の読書活動の推進を図った。</p>
目標と方向性	<p>高齢者・障がい者の読書環境の充実を図るための事業として、引き続き様々なサービスを実施するとともに、誰もが利用しやすい図書館を目指していく。</p> <p>また、利用者のニーズに応じたサービス提供について模索していく。</p>

3 学習成果を活かした地域づくりの推進

(1) 学びの場を核とした地域コミュニティの形成の推進

① コミュニティ事業の推進

地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりを目的に、コミュニティセンターにおいて、地域住民が主体となって実施する各種のコミュニティ事業を支援します。

【施策番号 42】コミュニティ事業について				
市民活動支援課				
事業概要	地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりのための事業を行う。 ●地域住民で組織する各コミセン運営委員会への委託により、教室・講座などのコミュニティ事業を実施（健康講座、体操教室、唱歌教室、料理教室など） ●各コミセン運営委員会が地域団体と連携して実施する事業(コミセンまつり、夏まつり、梅まつりなど)への補助金を交付			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりのための事業を行った。 ・コミュニティ事業の実施 H29：1,122 事業、利用者 377,646 人 H30：1,122 事業、利用者 360,954 人 R1：1,019 事業、利用者 361,790 人 R2：609 事業、利用者 191,857 人 ・各コミセン運営委員会が地域団体と連携して実施する事業への補助金を交付			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	地域住民で組織されるコミセン運営委員会が、それぞれの館において、地域住民のニーズに応じた事業を企画・実施し、多くの参加があった。			
目標と方向性	地域住民の連帯感やふるさと意識が醸成される豊かなコミュニティづくりを目的に、コミュニティセンターにおいて、地域住民が主体となって実施する各種のコミュニティ事業を支援していく。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行いながら、コミセン事業を実施していく。			

② コミュニティ組織の育成・支援

主体的・自立的な地域社会を形成するため、コミュニティセンターや自治会などのコミュニティ組織の活動を支援します。

子どもの健全育成に向けて PTA や青少年関係団体、地域の関係者が参画、連携し、地域社会全体で子どもを育む環境づくりを推進するため、活動の支援を行います。

【施策番号 43】コミュニティ組織の育成・支援について				
市民活動支援課				
事業概要	主体的・自立的な地域社会を形成するための事業を行う。 ●地域住民の連帯によるコミュニティ意識の高揚及び自治会活動支援のため、各自治会及び各自治会連合会に助成金を交付 ●自治会集会所等建設等補助金の交付や、貸付金による補助			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●主体的・自立的な地域社会を形成するための事業を行った。 ・各自治会及び各自治会連合会に助成金を交付 H29：8,176,000 円（127 自治会・10 自治会連合会） H30：8,042,400 円（127 自治会・10 自治会連合会） R1：7,908,400 円（127 自治会・10 自治会連合会） R2：7,771,800 円（127 自治会・10 自治会連合会） ・自治会集会所等建設等補助金の交付 H29：8,962,800 円（62 自治会） H30：3,547,420 円（64 自治会） R1：3,602,395 円（51 自治会） R2：3,766,020 円（58 自治会） ・貸付金による補助 H29：5,000,000 円（2 自治会）			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	各自治会及び各自治会連合会に助成金を交付するとともに、自治会集会所等建設等補助金の交付や貸付を行うことで、地域住民の連帯によるコミュニティ意識の高揚及び自主的で健全な自治会活動の促進を図ったが、自治会加入率の低下が課題となっている。			
目標と方向性	自治会加入率の向上を目指し、引き続き、各自治会及び各自治会連合会への助成金の交付や、自治会集会所等建設等補助金の交付や貸付を行うとともに、自治会のニーズに応じた効果的な支援策の検討を行う。			

③ コミュニティリーダーの育成・確保

地域社会における様々な活動の活性化を図るため、活動の中心となるリーダーの育成・確保に努めます。

【施策番号 44】 コミュニティリーダーについて				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	地域社会における活動の活性化を図るため、活動の中心となるリーダーの育成・確保に努める。 ●サークルリーダー研修会の実施			
達成度	H29	H30	R1	R2
	A		A	A
取組実績	●サークルリーダー研修会を開催した。 H29：340 団体 H30：320 団体 R1：350 団体 R2：242 団体 ※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、動画配信形式で開催（配信した動画 4 本のうち最も多かった再生回数を参加団体数として記載）。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	地域における社会教育活動の中心となるリーダーの育成のため研修会を開催し、不参加の団体には認定証を交付する際、自覚研修を実施した。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、集会形式での研修会を開催できなかったが、動画配信形式に変更し開催することができた。 しかし、研修会の参加率は低く、自覚研修においては趣旨を理解できていない方が散見された。			
目標と方向性	引き続き、地域における社会教育活動の中心となるリーダーの育成のため研修会を開催し、また、自覚研修の内容の充実に努める。			

(2) ボランティア活動の推進

① ボランティア活動の奨励

広報紙やインターネットなどでボランティア活動に関する情報提供を行うことにより、ボランティア活動に対する理解と関心を高めます。

また、社会教育施設などの公共施設において、ボランティア活動の場を提供するとともに、活動に必要な研修の実施に努めます。

【施策番号 45】 ボランティア活動について
図書館

事業概要	<p>ボランティア活動の奨励を図るための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書ボランティア団体によるライブラリーの開催 ●本の修理と整理ボランティアによる図書館事業への参加 ●本修理の活動環境の整備（専用室2ヶ所と修理道具一式） ●読み聞かせ・本の修理ボランティアの育成と支援 ●読書ボランティアネットワーク会議と講習会の開催と専門講師による読み聞かせ講習会1回） ●本の修理ボランティア養成講習会開催と個別指導の実施（講習会と随時個別指導） 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		S	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア活動の奨励を図るための事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティア団体の登録 H29：19団体 H30：19団体 R1：19団体 R2：17団体 ・読書ボランティア団体によるライブラリーの開催※ H29：子ども向け33回、614人 大人向け3回、35人 H30：子ども向け30回、473人 大人向け2回、26人 R1：子ども向け31回、476人 大人向け3回、55人 R2：子ども向け18回、176人 大人向け3回、56人 ・読書ボランティア登録団体主催事業の開催（絵本の読み聞かせ・人形あそびなど） H29：8回、164人 H30：10回、393人 R1：6回、132人 ・本の修理と整理ボランティアによる図書館事業への参加 H29：修理9名、整理2名 H30：修理11名、整理2名 R1：修理10名、整理2名 R2：修理8名 ・読書ボランティアネットワーク会議の開催 H29：3回、55人 H30：3回、36人 R1：2回、23人 ・本の修理ボランティア養成講習会の開催 H29：1回、8人 <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により、一部もしくは全部を中止。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>ボランティア活動の奨励を図るための様々な事業を行い、活動推進を行った。</p> <p>特に、読書ボランティア活動の推進により、多くの市民がライブラリー事業や読書ボランティア登録団体主催事業に参加し、読書活動の</p>			

	<p>推進を図ることができた。</p> <p>また、読書ボランティアネットワーク会議を年に数度開き、団体間の活動報告や情報交換、講習等の情報提供を行った。</p> <p>課題としては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、読書ボランティアネットワーク会議の開催を中止したり、読書ボランティア担当のライブラリー事業の中止などを行っているため、読書ボランティアへの支援が難しいことが挙げられる。</p>			
目標と方向性	<p>引き続き、読書ボランティア団体及び図書館サポーター（本の修理・整理ボランティア）への支援及び育成を図ることにより、ボランティアによる図書館事業への参加と読書活動の推進を図る。</p> <p>また、ボランティアの活動の場を増やしていくとともに、支援方法を模索していく。</p>			
【施策番号 45】 ボランティア活動について				
歴史民俗資料館				
事業概要	<p>ボランティア活動の奨励を図るための事業を行う。</p> <p>●資料館友の会のボランティア活動普及支援</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	<p>●資料館友の会のボランティア活動を支援するために、各種教室など活動の場を提供した。</p> <p>H29：36回 H30：36回 R1：31回 R2：7回</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、活動の場となる各種教室などが中止となり開催回数が減少したが、それ以前では毎年30回程度実施することができた。</p>			
目標と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じつつ、ボランティアの方に負担がかからない活動の場を提供することに努める。</p>			
【施策番号 45】 ボランティア活動について				
高齢介護課				
事業概要	<p>ボランティア活動の奨励を図るため、以下の事業を行う。</p> <p>●高齢者のサポーター登録者の募集</p>			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	B	A	A
取組実績	<p>●高齢者の社会参加や地域貢献の場を広げるとともに、健康増進と介護予防に役立つことから、サポーター登録者の募集を行い、ボランティア活動の場を提供した。</p>			

	H29：登録者数 85 人、受入機関数 31 箇所、活動実績 517 人 H30：登録者数 85 人、受入機関数 31 箇所、活動実績 346 人 R1：登録者数 86 人、受入機関数 35 箇所、活動実績 248 人 R2：登録者数 84 人、受入機関数 35 箇所、活動実績 208 人			
充足度	A			
総括（成果・課題等）	ボランティア活動を通して、高齢者の社会参加や地域貢献の場を提供することができた。			
目標と方向性	今後も、高齢者人口の増加及び高齢化率の上昇が見込まれていることから、高齢者の生きがいづくりや社会貢献などの社会参加活動の推進に継続して取り組んでいく。			
【施策番号 45】 ボランティア活動について				
環境課				
事業概要	ボランティア活動の奨励を図るための事業を行う。 ●市内一斉クリーン活動の実施 ●クリーン倶楽部城陽登録団体の活動の支援			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	●毎年、6月第1日曜日を中心に市内一斉クリーン活動を実施した。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。 ●クリーン倶楽部城陽登録団体への活動支援を行った。 H29：39 団体 H30：47 団体 R1：48 団体 R2：52 団体			
充足度	A			
総括（成果・課題等）	自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施できた。			
目標と方向性	引き続き、自然環境保全、地球温暖化問題について市民への学習機会を提供し、啓発を実施する。			
【施策番号 45】 ボランティア活動について				
商工観光課				
事業概要	ボランティア活動の奨励を図るための事業を行う。 ●各種団体への支援			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	●ボランティア活動の奨励を図るための事業を行った。 ・にぎわいづくりの会への支援 補助金の交付（150 千円）、ボランティアを広く募集し、運営協力			

	<p>等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 城陽市観光協会への支援 補助金の交付 (5,000 千円)、TWINKLE JOYO 会場内の飾り付けを行うボランティアの募集等の支援を行った。
充足度	A
総括 (成果・課題等)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、彩の市は中止となったが、例年、広報や支援を行ったことにより、恒例イベントとして定着させることが出来た。
目標と方向性	引き続き、にぎわいづくりの会及び観光協会に対して支援を行う。

② 学習機会の充実

多様なボランティア活動への参加意識を高めるため、だれでも気軽に参加できる各種ボランティアの養成講座や体験講座の実施など、学習機会の充実に努めます。

【施策番号 46】 ボランティアの学習機会について				
市民活動支援課				
事業概要	<p>ボランティア活動の参加意識を高めるための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動情報サイトと市民活動支援センターフェイスブックページを活用 ●市民活動相談の実施 ●人材育成等、市民活動支援に関する講座の開催 (年3回) ●「まちの木サロン」の開催 ●パソコン講座を開催 ●市民活動支援センター10周年記念事業の開催 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民のボランティア活動の拠点として市民活動支援センターの活動を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動相談の実施 H29：175件 H30：149件 R1：207件 R2：148件 ・市民活動支援に関する講座の実施 H29：3回 H30：3回 R1：3回 R2：3回 ・「まちの木サロン」の実施 H29：4回 H30：3回 R1：3回 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	市民活動相談や講座等を実施するとともに、市民活動情報サイトやフェイスブックにより広報や情報提供を行い、市民活動支援センター			

	<p>の活動を推進した。</p> <p>また、まちの木サロン等の開催により、団体間の交流を促進した。</p>
目標と方向性	<p>ボランティア活動団体に対して適切な支援ができるよう、引き続きニーズに応じた市民活動相談や講座等を実施するとともに、市民活動情報サイトやフェイスブックにより情報発信を行う。</p> <p>また、団体間の交流や情報交換ができるようまちの木サロン等の機会の充実を図る。</p>

③ ボランティア活動への支援

ボランティア活動に対するアドバイスやボランティア団体の交流、情報交換の場の提供など、市民のボランティア活動の拠点として市民活動支援センターの活動を推進します。

【施策番号 47】市民活動支援センターについて				
市民活動支援課				
事業概要	<p>市民のボランティア活動の拠点として市民活動支援センターの活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動情報サイトと市民活動支援センターフェイスブックページを活用 ●市民活動相談の実施 ●人材育成等、市民活動支援に関する講座の開催（年3回） ●「まちの木サロン」の開催 ●パソコン講座を開催 ●市民活動支援センター10周年記念事業の開催 			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民のボランティア活動の拠点として市民活動支援センターの活動を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動相談の実施 H29：175件 H30：149件 R1：207件 R2：148件 ・市民活動支援に関する講座の実施 H29：3回 H30：3回 R1：3回 R2：3回 ・「まちの木サロン」の実施 H29：4回 H30：3回 R1：3回 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>市民活動相談や講座等を実施するとともに、市民活動情報サイトやフェイスブックにより広報や情報提供を行い、市民活動支援センターの活動を推進した。</p>			

	また、まちの木サロン等の開催により、団体間の交流を促進した。
目標と方向性	ボランティア活動団体に対して適切な支援ができるよう、引き続きニーズに応じた市民活動相談や講座等を実施するとともに、市民活動情報サイトやフェイスブックにより情報発信を行う。 また、団体間の交流や情報交換ができるようまちの木サロン等の機会の充実を図る。

(3) 学習成果の活用

① 社会全体で子どもたちを育む取組みの推進

多様な生涯学習の成果を、放課後子ども教室や学校支援地域本部事業など学校支援に活かせるよう、学校と地域が連携・協働する体制づくりの推進に努めます。

【施策番号 48】学校と地域の連携・協働について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	学校と地域が連携、協働する体制づくりの推進に努めるための事業を行う。 ●学校支援地域本部事業の実施			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●地域ボランティアによる、図書支援・学習支援・環境整備・部活動補助などの学校支援活動を行った。 ・学校支援地域本部事業の実施 西城陽中学校（H22～）城陽中学校（H24～） （ボランティア数） H29：1,077人 H30：878人 R1：803人 R2：790人			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	学校支援地域本部事業の地域コーディネーターと連携し、城陽中学校と西城陽中学校への支援を行い、学校の環境整備だけでなく、教員の働き方改革にも貢献することができた。 城陽中学校、西城陽中学校とともに継続して参加いただけるボランティアの人材確保が課題である。			
目標と方向性	引き続き、地域コーディネーターと連携し、城陽中学校と西城陽中学校に必要とされる支援を行う。 学校支援活動に参加していただくことができるボランティアの確保に努める。			

② 活動の場の充実

生涯学習の成果を表現する場として、文化芸術協会が中心となった市民文化祭などで、発表会や作品展示会などが開催されており、今後も、市民の生涯学習活動への意欲を高めることから、学習成果を表現する場の充実に努めます。

【施策番号 49】生涯学習の成果を表現する場について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	生涯学習活動への意欲を高め、学習成果を表現する場の充実にを図るための事業を行う。 ●文化芸術協会への補助金交付 ●文化芸術協会主催イベントの後援 ●市民文化祭実行委員会への参加協力			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	●生涯学習活動への意欲を高め、学習成果を表現する場の充実にを図るための事業を行った。 ・文化芸術協会への補助金交付 ・文化芸術協会主催イベントの後援 ・市民文化祭実行委員会への参加協力			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	市民が生涯学習活動の意欲を高め、学習成果を表現する場の充実に図るため、文化芸術協会との連携を図り、補助金交付等の支援を進めることが出来た。			
目標と方向性	引き続き、文化芸術協会への支援に努める。			

③ 人材活用の仕組みづくり

市民の中から豊富な知識や技術を持つ方や、学習活動で学んだ優れた成果を持つ方を指導者として登録し、市民の自主的な学習の場で活動するシステムの整備を検討します。

【施策番号 50】人材活用について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	市民の自主的な学習の場で活動するシステムを整備するための事業を行う。 ●人材活用に係る情報提供の整備			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	●人材活用に係る情報提供の整備「社会教育関係団体登録名簿」を各施設に設置した。(30箇所)			

充足度	A
総括 (成果・課題等)	市民からの問い合わせ等に対応できていた。 情報提供後に、実際に活動につながったかどうかまでは把握しておらず、具体的な課題等はない。
目標と方向性	引き続き、名簿を作成し情報提供に努める。

4 学習環境の整備

(1) 生涯学習施設の整備・充実

① 生涯学習施設の整備・充実

市民が自らの意志により、いつでも自由に学習ができるよう、多様な形態の学習活動が可能な生涯学習施設の整備・充実を図ります。

【施策番号 51】生涯学習施設の整備・充実について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	市民の自主的な学習活動の場として、生涯学習施設を活用する。 ●文化パーク城陽・公民館等の適正な維持管理			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	S	S	S
取組実績	●計画的な予算確保・修繕を行ったり、施設の状態を把握し迅速な対応をとることで、利用者が安全、快適に利用することができるよう施設維持管理を行った。			
充足度	S			
総括 (成果・課題等)	利用者の安全確保や利用の支障となるものを優先し、順次更新を行ってきた。 経年劣化した設備等について、順次修繕・更新を行っているものの、開館以来使用し続けている設備等が残っており、計画的に修繕・更新していく必要がある。			
目標と方向性	引き続き、利用者の安全確保や利用の支障となるものを優先し、順次修繕等を実施する。			

② スポーツ施設の整備・充実

市民が快適で安全にスポーツに親しめるよう、総合運動公園をはじめとした施設の充実に努めます。

【施策番号 52】スポーツ施設の整備・充実について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	市民の自主的な学習活動の場として、スポーツ施設を活用する。 ●総合運動公園、市民運動広場、市民プール、適正な維持管理 ●東城陽ふれあいスポーツ広場の適切な維持管理（グラウンドゴルフ、少年サッカー専用）			
達成度	H29	H30	R1	R2
	/	A	A	A
取組実績	●市民の自主的な学習活動の場として、スポーツ施設を活用いただく			

	ため、総合運動公園、市民運動広場、市民プール及び東城陽ふれあいスポーツ広場の適切な維持管理に努めた。
充足度	A
総括 (成果・課題等)	安心安全にスポーツ施設を利用いただくため、総合運動公園、市民運動広場、市民プール及び東城陽ふれあいスポーツ広場の適切な維持管理を行った。
目標と方向性	安心安全にスポーツ施設を利用いただくため、引き続き総合運動公園、市民運動広場、市民プール及び東城陽ふれあいスポーツ広場の適切な維持管理に努める。

③ 学校施設の活用

小中学校のグラウンドや体育館は、地域における身近なスポーツ施設であり、引き続き活用を推進します。また空き教室の有効活用を学校と連携し推進します。

【施策番号 53】 学校施設の活用について				
学校教育課				
事業概要	市民の自主的な学習活動の場として、学校施設を活用する。 ●小中学校のグラウンド・体育館を開放			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●小中学校のグラウンドや体育館を開放した。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	小中学校のグラウンドや体育館を開放した。			
目標と方向性	地域における身近なスポーツ施設として利用できるように小中学校のグラウンドや体育館を開放する。			

(2) 関係機関との連携推進

① 生涯学習ネットワークの展開

コミュニティセンター、公民館、男女共同参画支援センターなど、生涯学習施設間の連携を強化して、新たな学習ニーズに対応した事業や情報提供などを効果的に実施します。

【施策番号 54】 生涯学習ネットワークについて	
文化・スポーツ推進課	
事業概要	市民の生涯学習を効果的・効率的に推進するため、生涯学習ネットワークを展開する。 ●情報誌・紙の発行、ホームページへの掲載 ●施設間の相互予約

達成度	H29	H30	R1	R2
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の生涯学習を効果的・効率的に推進するため、生涯学習ネットワークを展開した。 ・情報誌・紙の発行、ホームページへの掲載 ・施設間の相互予約 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	情報誌・紙の発行により、一つの媒体を見ても他館の情報がわかるよう情報提供を行った。			
目標と方向性	引き続き、より見やすい紙面づくりに努めていく。			

② 民間団体等との連携

生涯学習事業の企画立案、情報交換、講師派遣などにおいて、商工会議所、社会福祉協議会、カルチャーセンターやスポーツクラブ、NPO・ボランティア団体等と連携を強化して、生涯学習事業の充実に努めます。また、京都府や他市町村、大学などの高等教育機関の生涯学習に関する情報を収集し情報提供、学習プログラムの活用などを推進します。

【施策番号 55】民間団体等との連携について				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	生涯学習事業の充実に努めるための事業を行う。 ●城陽市民大学の講座づくりにおいて、民間団体からの参画を得て事業実施			
達成度	H29	H30	R1	R2
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●民間団体及び市民からの参画を得た城陽市民大学企画推進委員会を実施した。 H29：5回 H30：5回 R1：4回 R2：3回			
充足度	S			
総括 (成果・課題等)	企画推進委員に様々な意見をいただき、市民にとって有益な方向に向けていただいた。 講座での司会や会場準備等ではその場に応じた臨機応変な対応をしていただき、講座がスムーズに進んだ。 引き続き、企画推進委員の意見を聞きながら講座を進めていく。			
目標と方向性	城陽市民大学の講座づくりにおいて、引き続き民間団体からの参画を得て事業を実施していく。			

③ 学校教育と社会教育の連携・融合

学校、地域がそれぞれの教育機能を発揮して、学校教育における地域などの連携協力を促進するとともに、地域の社会教育活動に学校が協力するなど、学校と地域が一体となった学習活動の充実に努めます。

【施策番号 56】 学校と地域が一体になった学習活動について				
学校教育課				
事業概要	学校と地域が一体となった学習活動の充実にを図るための事業を行う。 ●学校・地域連携推進事業 ●特色ある学校教育推進事業			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	●子どもの安全・安心な活動拠点の確保や地域交流活動等を行うため、学校と家庭、地域が連携した事業の充実に図り、子どもと地域とのふれあいや交流の場づくりに努めた。 ●学校・地域連携推進事業や特色ある学校教育推進事業など、地域の社会人講師や学習環境を活用して、様々な学習を行った。			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	学校・地域連携推進事業として、中学校ブロックごとに地域との連携事業を実施できた。 各学校で特色ある学習活動を実施できた。			
目標と方向性	子どもの安全・安心な活動拠点の確保や地域交流活動等を行うため、学校と家庭、地域が連携した事業の充実に図り、子どもと地域とのふれあいや交流の場づくりに努める。 学校・地域連携推進事業や特色ある学校教育推進事業など、地域の社会人講師や学習環境を活用して、様々な学習を行う。			

(3) 情報提供の推進

① 情報紙の充実

生涯学習情報紙「まなび Eye」等の内容の充実に努め、多くの市民が興味を持てる情報紙をめざします。

【施策番号 57】 生涯学習情報紙について	
文化・スポーツ推進課	
事業概要	多くの市民が興味を持てる情報紙を目指した事業を行う。 ●生涯学習情報紙まなび Eye の発行 ●子どもチャンネル城陽発行 ●じょうよう子ども広場

達成度	H29	H30	R1	R2
	A			
取組実績	<p>●多くの市民が興味を持てる情報紙を目指した事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報紙まなび Eye の発行、全戸配布 H29：3回 H30：3回 R1：3回 R2：3回 子どもチャンネル城陽の発行、全児童配布 H29：2回 じょうよう子ども広場の配信 H29：6回 じょうよう子どもじょうほうチャンネルの発行 H30：4回（うち1回は全児童配布） R1：4回（うち1回は全児童配布） R2：4回 <p>※平成 30 年度より、子どもチャンネル城陽とじょうよう子ども広場を統合し、じょうよう子どもじょうほうチャンネルとした。</p> <p>※令和 2 年度のじょうよう子どもじょうほうチャンネルについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、全児童配布中止。</p>			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	<p>まなび Eye については、全戸配布することにより情報格差なく確実に市民の方へ生涯学習情報を提供することができており、参加促進につながっている。</p> <p>じょうよう子どもじょうほうチャンネルについては、平成 30 年度に、子どもチャンネル城陽とじょうよう子ども広場を統合する見直しを行い、小学生を中心に生涯学習情報を提供することができた。</p>			
目標と方向性	引き続き、多くの市民が興味を持てる情報紙を目指し事業を行う。			

② ホームページの充実

現在、本市教育委員会のホームページにおいて、生涯学習情報や市の教育に関する情報、本市ホームページにおいても生涯学習情報の提供を行っていますが、内容を充実し、常に最新の情報が提供できるように努めます。

【施策番号 58】ホームページについて	
文化・スポーツ推進課	
事業概要	<p>常に最新の生涯学習情報を提供するための事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●城陽市 HP、市教委 HP へ掲載 <p>まなび Eye、城陽市民大学、子どもチャンネル城陽、じょうよう子ども広場、施設概要、施設予約方法等</p>

達成度	H29	H30	R1	R2
			A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●城陽市 HP、市教委 HP へ掲載した。 まなび Eye、城陽市民大学、じょうよう子どもじょうほうチャンネル、施設概要、施設予約方法等 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、様々な事業の内容に変更が生じたが、ホームページを利用して対象者に知らせることができた。			
目標と方向性	引き続き、常に最新情報が提供できるよう努めていく。			

③ 情報提供システムの構築

生涯学習事業への参加申し込みなどをインターネットで行えるなど学習参加しやすいシステム環境の整備に努めます。

また、市民活動情報サイトを活用し、NPO・ボランティア団体などの活動情報の提供に努めます。

障がいのある人に配慮した情報提供の仕組みを検討します。

【施策番号 59】 情報提供システムについて				
文化・スポーツ推進課				
事業概要	学習参加しやすいシステム環境の整備に努めるための事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習事業の参加申し込みについて、はがき・FAXとEメールにて受付を行う 			
達成度	H29	H30	R1	R2
		A	A	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●市民大学の申込について、はがき・FAX・Eメール・申込フォームにて受付を行った。 ※令和2年度より申込フォームを新設した。 			
充足度	A			
総括 (成果・課題等)	学習参加しやすいシステム環境の整備のため、市民大学の申込について、令和2年度から申込フォームを追加した。 Eメール・申込フォームを使った申込では、記載漏れや誤送信が多かった。			
目標と方向性	Eメール・申込フォームを使った申込では、記載漏れや誤送信が多かったため、申込方法を広報する際に、わかりやすいよう工夫し、広報する。			